

岩手県立大槌病院へ入院された患者さん、ご家族へ

私たち大槌病院の職員は

患者さんが安心して過ごせるように

“身体拘束をできるだけ行わないケア”を大切にしています

1. 私たちの思い

■ 身体拘束をできるだけ行わないケア

患者さんがその人らしく過ごせるよう、できる限り自然な形でのケアを心がけています

■ 安全を守ること

転倒やチューブのトラブルを防ぐため、まずは他の方法を考えます

■ ご家族との相談

気になることや心配なことは、一緒に話し合いながら進めていきます

2. 身体拘束を行わずにできる工夫

■ 過ごしやすい環境づくり

ベッド周りを整えたり、照明を調整したりして安心できる空間にします

■ こまめな見守り

お部屋をのぞく回数を増やしたり、センサーを使ったりして安全を見守ります

■ やさしい声かけ

不安や混乱が少しでも和らぐよう、丁寧にお話します

■ お薬の調整

眠くなりすぎないように、状態に合わせてお薬を見直します

■ リハビリや活動のサポート

できる範囲で体を動かし、落ち着いて過ごせるようお手伝いします
また、アクティビティケアを通して入院生活でも充実した時間を過ごせるようにしています

3. それでも身体拘束が必要になるとき

- 命にかかわる危険 がある場合
- 治療が続けられなくなる恐れ がある場合
- 大きな事故につながる心配 がある場合

そのようなときは、できるだけ短い時間で、必要最小限の方法にとどめます。

理由や状況は、患者さん・ご家族にきちんとお伝えします。

4. 患者さん・ご家族へのお願い

心配なことや気づいたことがあれば、どうぞ遠慮なくお知らせください。

普段の生活のこと(好きなこと・苦手なこと・生活リズムなど)を教えてください
ると助かります。

面会や声かけは患者さんの安心につながります。14時～17時の面会時間
をお願いします。



令和8年6月30日

岩手県立大槌病院